平成 29 年 12 月 15 日

各　位

会　社　名　株式会社フェニックスバイオ
代表者名　代表取締役　藏本　健二
（コード番号：6190　東証マザーズ）
問合せ先　専務取締役管理部長　田村　康弘
（TEL　082-431-0016）

University of Southern Californiaとの共同研究契約締結に関するお知らせ

当社は、University of Southern California（南カリフォルニア大学医学部内科学消化器肝臓病部門/分子微生物免疫学）とPXBマウスを用いた疾患モデルマウスに関する共同研究契約を締結することをお知らせいたします。

記

１．目的及び内容

当社はヒト肝細胞キメラマウス（当社製品名：PXBマウス®）を作製しており、製薬会社及び研究機関に対して、受託試験サービスを提供しております。当社が開発したPXBマウスは、ヒトの肝臓を有しているヒト肝臓モデル動物として、これまで多数の論文発表や使用実績があり、高い利用価値を持っていることが証明されております。

今回の共同研究は、米国でもトップクラスの肝臓疾患研究センターを持つUniversity of Southern California（以下、「USC」という。）と当社で、PXBマウス（ヒトの肝細胞を持つキメラマウス）を用いた疾患モデルマウスの作製を目的としており、将来的には製薬企業の薬効評価試験で使用できるよう実用化を目指してまいります。

また、併せてUSCを介して、米国の公的研究予算を活用したPXBマウス及びPXB-cells®（PXBマウスから採取した新鮮ヒト肝細胞）の用途開発等に関する研究を行い、USCを中心に米国のアカデミアでの当社製品群の使用拡大から、PXBマウスの普及を図ってまいります。

当社は、これまで海外においては、製薬企業を中心にPXBマウスの有用性等に関する共同研究を進めてまいりましたが、今後はその対象をアカデミアまで広げ、医療、創薬に関わる多くの研究者に対してPXBマウス及びPXB-cells®の認知を広げる活動を行うとともに、新たな疾患モデルの研究開発に邁進してまいります。

２．契約期間

平成29年12月から平成34年12月までの５年間

３．University of Southern Californiaの概要

(1) 名称　University of Southern California
（南カリフォルニア大学医学部内科学消化器肝臓病部門/分子微生物免疫学）
(2) 場所　Los Angeles, CA 90033
(3) 共同研究者　齋藤 剛 助教

４．今後の見通し

本共同研究が当期の業績に与える影響は軽微でありますが、将来的に公表するべき事項が生じた場合は速やかに開示いたします。

以　上